

Educational Facility





入居者同士のコミュニケーションを促す、 国際色豊かなリノベーション空間

「シェアプレイス調布多摩川」は社会人・学生向けのシェア型賃貸住宅。シェアラウンジは屋外の広場につながる開放感のある空間で、交流の中心地として設計されました。エントランスホールは螺旋階段や煉瓦など既存を生かしながら改修を行いました[3]。テラスには全長10mのビッグテーブルを設置することで、ランチや読書、調理場など多目的で使える空間としました[1]。国際学生宿舎「グローバルハウス調布」のラウンジは、「和」と「知」というコンセプトで空間をコーディネート[2]。気分や状況に応じて使い分けられます。本案件は、限られた予算の中でデザイナー・運営会社の希望を汲みつつ、VE・CD*案を提示するなど、効率に重点を置いて進めました。

*VE…「Value Engineering(バリューエンジニアリング)」の略。性能や価値を下げずにコストを抑えること。
CD…「Cost Down(コストダウン)」の略で、材料や設計などを工夫することで価格をさらに安くすること。

1

物件名：

依頼主：株式会社リビタ 様

所在地：東京都調布市

完成：2017年8月

担当者：ファシリティ事業部 事業推進部 事業推進課
木下修／井上武憲

〈工事〉

東京支店 工事課 建築グループ
永井秀幸／吉田岳志／更澤心平

* 担当者の所属については2018年3月31日時点のものです。
一部、部署・役職等を省略しています。



インテリアアイテム



造作家具



サイン



2



3